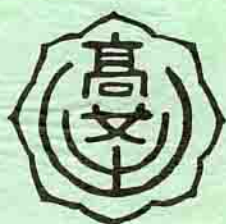


# 創立80周年記念式典



日時 平成15年10月24日(金)午前10時

場所 瀬戸市文化センター

愛知県立瀬戸高等学校

# 記 念 式 典 次 第

開式のことば

国歌斉唱

黙禱（物故者追悼）

実行委員会委員長挨拶

校長式辞

愛知県教育委員会祝辞

来賓祝辞

来賓紹介

祝電披露

永年勤続表彰

記念品目録贈呈

生徒代表誓いの言葉

校歌斉唱

閉式のことば

## 記念事業

- 一、築庭（ロータリー整備）
- 一、CD製作（瀬戸高等女学校校歌・瀬戸高等学校校歌  
・応援歌・男子逍遥歌・女子逍遥歌）
- 一、楽器（吹奏楽部）購入
- 一、図書館コンピューター購入
- 一、創立80周年記念誌編纂

## 記念講演

演題 「回顧五十年」

講師 谷口 巖 先生 （高校第4回卒）

愛知教育大学名誉教授 岐阜女子大学教授

## 永年勤続感謝状贈呈者御芳名

学校医	耳鼻科	前田真喜子	様	昭和49年度～29年間
〃	眼科	小口宣夫	様	昭和45年度～33年間
学校薬剤師		村松正美	様	昭和44年度～34年間
教諭		舟橋一雄	様	昭和61年度～17年間
〃		加藤光之	様	昭和54年度～24年間
非常勤講師		川合達人	様	昭和57年度～21年間

瀬戸高等女学校 校歌

作詞 尾上八郎  
作曲 福井直秋

一、林と立てる烟突の

吐かざる日なき黒烟

天つみ空は暗けれど

国の富をもつくりつゝ

思あかるき諸人に

われら処女はならひてむ

二、昔の人のいそしみを

さながら今に伝え来て

正しく強く艶やかに

やさしく堅く滑らかに

わが陶磁器のある如く

われら処女は生ひたたむ

三、猿投の山に向かふ間も

陶祖の碑をばみる時も

師の御教をくりかえし

心練りつゝ磨きつゝ

御世の光となりぬべく

われら処女はつとめてむ

瀬戸高等学校 校歌

作詞 折口信夫  
作曲 森下千秋

一、八方に立つ煙

朝空にふりさけて

今日を我学問す

薫々に照る炎

天雲を焦がす時

今宵われ反省す

二、とりよるう山の木々

盡くるなきごすきぶし

陶器に皆焼きて

代々を経し陶の郷

芸と学相かなひ

いちじるしわが文化

三、竜泉寺、猿投山

中世の夢棄てて

ひらきたる自主の町

かがやかし近代の

ほこるべき伝統を

継がむ者、我等あり

記念講演会講師紹介資料

愛知教育大学名誉教授

岐阜女子大学教授

たにぐち いわお  
谷口 巖 先生のプロフィール

ご出生 : 昭和8年 尾張旭市瀬戸川町に生まれる

現住所 : 瀬戸市苗場町

◇ご略歴

- ・昭和20年 尾張旭町立旭小学校を卒業  
旧制愛知一中へ入学
- ・昭和24年 学区制変更に伴い瀬戸高等学校へ転校
- ・昭和27年 瀬戸高等学校を卒業
- ・昭和29年 東京大学へ入学
- ・昭和31年 東京大学文学部フランス文学科へ進学
- ・昭和33年 東京大学文学部フランス文学科を卒業  
東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専攻修士課程へ入学
- ・昭和35年 東京大学大学院人文科学研究科国語国文学専攻修士課程を修了  
函館ラサール高校教諭として赴任
- ・昭和41年 北海道教育大学へ赴任
- ・昭和45年 愛知教育大学へ転任
- ・平成9年3月 定年退官
- ・平成9年4月 岐阜女子大学文学部へ赴任 現在に至る

◇学会所属

- ・日本文学協会、日本近代文学会、福沢諭吉協会 等

◇海外での活動

- ・昭和50年～51年 文部省在外研究員(フランス国立高等研究院にて研究)
- ・昭和60年～61年 招聘教授 北京大学にて講義

◇著書

- ・『吾輩は猫である』を読む(平成9年・近代文芸社) 他

◇その他

- ・尾張旭市立三郷小学校、旭丘小学校、西中学校校歌等の作詞者

◇ご趣味

- ・山歩き、陶芸

## 芸 術 鑑 賞

出し物名 「アカペラ」

出演者等の紹介 チュチュチュファミリー（藤田武志、穂積亜紀、  
小野寺一步、丸山大介、安藤和美）



チュチュチュファミリーは、ジャズ、ゴスペル、ボサノバなどの正統派スタンダードナンバーはもちろんのこと、コミックソング、CMパロディ、アニメソング、ムード歌謡など、あらゆる音楽をアカペラで料理するスーパーボーカル集団として、99年1月に結成されました。

その高い音楽性とセンスの良いギャグで、一度見たら頭から離れなくなるおもしろさがあります。